

2012年12月4日
在日米国商工会議所

ACCJ 第53代会頭にローレンス・W・ベイツを選出

在日米国商工会議所（ACCJ）は、第53代会頭としてローレンス・W・ベイツを選出した。任期開始日は2013年1月1日となる。

「ACCJの会頭に選出されたことを大変光栄に思います。日本市場において、そしてより広範なアジア太平洋地域さらには世界規模で共に成長をしていくためのパートナーとして、日本の存在がACCJの会員企業にとって今日ほど大きかったことはありません。日本で最も大きな外国経済団体の一つとして、強いリーダーシップを通して、ACCJは日米間の経済活動の発展を推進し、米国企業の支援をするだけでなく、日本国内における国際ビジネス環境の強化にも力を注いでいきます」とベイツ次期会頭は抱負を述べた。

「会頭として、私は成長に着目していきたいと考えています。その成長とは、1. 情報共有、ネットワーキング、そして政策提言活動を通じたACCJ会員個人のリーダーシップの成長、2. 会員をさらに活気づけるためのACCJ自身の成長、そして、3. より広範な地域での熟考された政策提言や取組みを通じた、日本における米国企業にとっての市場機会の成長です。」とベイツ次期会頭は結んだ。

--略歴--

ベイツ氏は現在 GE のグローバル・グロース&オペレーション組織において日本におけるゼネラル・カウンセルを務め、GE の日本事業に関する法務、コンプライアンス、規制監督分野を統括する。1958年2月、コネチカット州ニューロンドン生まれ。1980年、中国研究・経済の学士号を取得しエール大学を最優等生で卒業。1986年にはハーバード・ロースクールを優等生で卒業。中国語（北京語）と日本語が堪能である。ベイツ氏はニューヨーク州弁護士資格を有しており、1992年のGE入社以前にはニューヨーク、北京、東京にて大手国際法律事務所勤務した。また1989年には在中国米国商工会議所の理事に選出された経験も持つ。1990年にはフルブライト上級研究生として、東京大学にて国際投資法比較研究を共同で（日本語で）教授。1992-1998年GEメディカルシステムズ・アジアのゼネラル・カウンセルとして東京、香港にて勤務後、1998-2002年GEキャピタル・ジャパンのゼネラル・カウンセルとして東京にて勤務。2002年より現職。

ACCJでは同時に、副会頭4名（内1名は中部支部）、理事8名（内1名は中部支部）を選出した。2013年の役員一覧は以下の通り。

副会頭

<新規選出>

- マイケル・ウィーニック（ゲンスラー・アンド・アソシエイツ・インターナショナル・リミテッド マネージングディレクター）

<再選出>

- ヴィッキー・バイヤー（モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社 エグゼクティブディレクター）
- ジム・ワイザー（PBXL株式会社 代表取締役社長）

<現任>

- ジェフリー・S・バーニアー（デルタ航空 アジア太平洋地区統括本部長）
- アンドリュー・J・コンラッド（アフラック 常務執行役員・統括法律顧問）

財務理事

<現任>

- ジャック・E・バード（プライスウォーターハウスクーパース パートナー）

理事

<新規選出>

- ジョナサン・クシュナー（クレアブ・ギャビン・アンダーソン株式会社 代表取締役、マネージング パートナー ジャパン）
- ジョージ・L・マフェオ（ボーイング・ジャパン 社長）
- アンドリュー・W・シルバーマン（アドバンスト・マネジメント・トレーニング・グループ株式会社 代表取締役社長）
- ウィリアム・J・スウィントン（テンプル大学ジャパンキャンパス 国際ビジネス教育ディレクター）
- 東海由紀子（eBay, Inc. 政府渉外担当本部長（日本担当））

<再選出>

- 杉原佳堯（インテル株式会社 法務・渉外統括本部 渉外兼政府渉外部長）
- アイラ・ウルフ（米国研究製薬工業協会 日本代表）（任期1年）

<現任>

- ブルース・エルズワース（ジョンソン・エンド・ジョンソングループ 政府機関・医療政策 日本担当ディレクター）
- クリストファー・J・ラフルアー（マクラーティ・アソシエイツ シニアアドバイザー）

- タッド・ジョンソン (P&W アフターマーケットジャパン株式会社 ゼネラル マネージャー兼代表取締役)
- パトリシア・ロビンソン (一橋大学 准教授)
- 吉村幸雄 (シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社 執行役員 ガバメント・アフェアーズ担当)

中部支部

副会頭<新規選出>

- スティーブ・バーソン (株式会社エイチアンドアールコンサルタンツ 代表取締役社長)

理事<新規選出>

- クリス・E・ザラドカウィッツ(シーザースインターナショナル株式会社 代表取締役社長)

監査役<新規選出>

- ジョセフ・ハルデイン (ザ インターナショナル アカデミック フォーラム 最高経営責任者)

関西支部

副会頭<現任>

- キラン・S・セティ (株式会社ジュピターインターナショナルコーポレーション 代表取締役社長)

理事<現任>

- アルフォンゾ・G・ズルエッタ (日本イーライリリー株式会社 代表執行役社長)

監査役<現任>

- ハーマン・J・アーリック (ヒルトン大阪 総支配人)

以上

###

1218 J

–在日米国商工会議所について–

在日米国商工会議所 (ACCJ) は、米国企業 40 社により 1948 年に設立された日本で最大の外資系経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約 1000 社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係の下、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60 以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間 500 以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任 (CSR) 活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室 (電話: 03-3433-6542; メール: external@accj.or.jp) までお願い致します。